

附属札幌中学校「学校だより」

藤 房

北海道教育大学
附属札幌中学校

令和5年3月24日発行

No.13

今年度を終えるにあたって

学校長 萬谷 隆一

令和4年度のしめくりを迎え、保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動にご協力・ご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

まだ予断、油断はできないものの、ようやく3年間のコロナとの闘いにも出口への兆しが見えてきたのではないかと思います。今年度は、藤華祭をはじめ、合唱祭も行われました。とりわけ合唱祭では、クラスごとに練習に熱を入れ、個性あふれる歌声を響かせることができ、誠に嬉しく思いました。

また3月15日に行われた卒業式は、保護者の方々にもご出席いただき、卒業生の晴れた素顔を見ることができ、歌声を響かせる場面もあり、卒業生の人生の門出を祝福する心、お世話になった人々へのあふれる感謝の心が交わされ、まことに心動かされる集いとなりました。1年生、2年生の皆さんも3年生の卒業を祝うために、校内の装飾をはじめ、心をこめた送別活動に取り組み、3年生は大変感謝していました。

1年生、2年生の皆さんには当日は、オンラインで自宅から卒業式の様子を見てもらうことになりました。しかし、今年は事前の総練習の際、1年生・2年生に、実際に体育館で卒業生の式に臨む姿を見てもらうことができたことは、大きな意味があったと思います。コロナで、色々な行事の中止や縮小によって、「先輩の姿を見る機会」も減っていましたが、行事の場で先輩の姿を見ることは、1・2年生にとって、自分たちもそうした姿に近づいてゆく目標をもつという視点から、とても重要な意味をもっています。1・2年生は、卒業式に臨む3年生の立派な姿を見て、そこに至るまでに、これから自分たちが何をすべきなのか、どのように自分たちを高めてゆくべきなのかを考える機会となったのではないかと思います。ぜひ自分たちの卒業式の日、胸を張って卒業できるように、残された日々を有意義に過ごしてもらいたいと願っています。

さて、お子様たちは、いよいよ学年が上がる節目を迎え、4月からの新しい学年での学習、様々な行事に期待を胸に膨らませていることでしょう。1年生は、2年生となり、後輩が入ってくることで中堅の学年となります。これまでの経験を生かして、実質的に物事を動かす中心学年として、ますます活躍してほしいと思っています。ただ2年生という時期は、徐々に学校生活にも慣れ、余裕をもって物事に取り組めるようになってくる半面、「緩み」が出てくる時期でもあります。個人として、学習集団として、自分たちが目指したい夢を抱く、その実現に向けて目標を具体化して取り組むなど、大切な中間時期を有意義に過ごしてもらいたいと思います。保護者の方々には、ぜひそう



した、お子様の夢や企てに耳を傾けていただき、お子様たちが自ら将来を形作るお手伝いをお願いしたいと思います。

2年生は、いよいよ3年生となり、最高学年として学校をリードする責任集団となり、活躍を心から期待しています。早くも5月には沖縄への修学旅行が迫り、実施に向けた準備が始まってゆきます。また進学に向けた準備にもいそしむこととなりますが、保護者の方々におかれましては、お子様の健康を守ることはもとより、心が健やかな状態で「自ら」将来に向けた頑張りができるように、ご支援をどうかよろしくお願い申し上げます。

おわりに、私たち教職員は、お子様たちの成長を願い、日々努力を積み重ねたいと念じております。保護者の方々には、これまで1年間のご協力・ご支援に心から感謝し、さらに来年度においても、お子様の成長と学習を見守り促すために、ご支援・ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

■離任する教職員からの言葉

3月をもちまして、以下の教職員が本校から転出・退任することとなりました。離任する教職員からの言葉を紙面にて紹介させていただきます。

太田 和幸 副校長	(社会科・3年)	札幌市立月寒中学校へ
佐藤 敦 主幹教諭	(技術科・7年)	札幌市立札苗中学校へ
松浦 祐介 教諭	(保健体育科・3年)	札幌市立手稲中学校へ
山角亜沙美 教諭	(養護教諭・4年)	札幌市教育委員会へ
中禰 真介 教諭	(特別支援・7年)	札幌市立柏中学校へ
原田 開斗 講師	(国語科・2年)	札幌市立八条中学校へ
神崎 知恵 講師	(社会科・2年)	習志野市立第一中学校へ
北條 朱音 講師	(特別支援・2年)	札幌市立平岡緑中学校へ
皆川 志樹 講師	(特別支援・2年)	退任
福澤 透真 講師	(特別支援・1年)	平取町立振内中学校へ
尾上 樹里 さん	(相談員・3年)	退任
飛内 瑞季 さん	(相談員・1年)	退任
坂野 良子 さん	(事務補・4年)	退任

太田 和幸 副校長

依然としてコロナ禍の不安と対応の続く中ではありますが、この3月末をもちまして、離任することとなりました。生徒・保護者の皆様には大変お世話になりました。紙面で恐縮ですが、心よりお礼を申し上げます。本校には、社会科教員として9年間、副校長として3年間の通算12年間を過ごさせていただきました。この3年間はコロナに明け暮れたものではありませんでしたが、学びを止めないために様々な工夫を凝らし、新しい附属札幌中の形を創ってきたと感じています。新3年生のみなさんをリーダーとして、もっとよい附属札幌中に磨いてほしいと願っています。学校は離れますが、これからも陰ながら応援したいと思います。生徒・保護者の皆様には、お体に気を付けられてご活躍されますことを祈念いたします。多くの皆様との出会いは私自身の宝物です。ありがとうございました。

佐藤 敦 主幹教諭

附属札幌中学校の理念である「共創の学校」のもと、生徒・保護者の皆様と共に過ごした7年間は、自分の教員人生の宝物になりました。やる気に満ちた生徒とともに創り上げる毎日の授業、私自身、生徒の姿から多くの刺激を受けました。また、4年前からは、PTA 役員会にも関わらせていただきました。保護者の方の附属中への思い、そして支えを改めて実感する日々でした。父親委員会の取組、藤華祭でのPTA合唱、全てが良い思い出です。この3年間はコロナ禍により、歯がゆく感じることも多々ありましたが、新しい附属中学校の姿も徐々に形作られています。今後も益々の発展をお祈りしております。新しい勤務校でも、附属での経験、学びを生かしながら、新たに出会う子どもたちのために力を尽くして参りたいと思います。大変お世話になりました。

松浦 祐介 教諭

何事にも一生懸命に取り組む明るく活発な生徒たちに支えられた3年間でした。体育の授業の中でも諦めずに努力し続け、どうしたらもっと上手になることができるか、勝つことができるかを真剣に考える姿にこちらもエネルギーをもらっていました。また、保護者の皆様にも温かく支えられました。生徒が安心して学校で学び合うことができるのも保護者の皆様の支えがあるからこそだと感じています。教員1年目から附属札幌中学校に勤めることができたことは私にとってとても幸運でした。私は4月から別の学校での勤務となりますが、保護者の皆様におかれましては、引き続き本校の教育活動にお力添えいただけましたら幸いに存じます。3年間、大変お世話になりました。

山角 亜沙美 教諭

日々当たり前であった生活が実はとても大切なものであること。附属中で勤務した4年間、コロナ禍を経験し、何度それを痛感したかわかりません。しかしその状況の中で、生徒の皆さんにはしなやかに困難を乗り越える力がありました。そこには、本人の力を支えるご家庭の安心できる土台があったのだと実感しています。

生徒の皆さんの揺れや迷いに保護者の皆さまと一緒に寄り添い、それぞれの目標に向かって支える関わりを模索したこの附属中でのひとは、私の人生にとってかけがえのない大切なものとなりました。生徒のみなさんの、一人一人違う素晴らしい力を発揮して、どうか今後も健康で活躍してほしいと心から願っています。4年間、保健室にご理解・ご協力をいただき、本当にありがとうございました。

中瀬 真介 教諭

附属中学校の生徒は打てば響く、可能性の塊でした。真剣に話を聞き、こちらの思いを吸収している姿が心に残っています。私の大好きな言葉を紹介して結びにします。吸収してください。“Everything is practice.” 誤解を恐れずに解釈をすれば、「日常を楽しみましょう」です。人間、本番のために頑張る（見通しが持たずに、サボっちゃうことがあったとしても）のは当然です。そうではなく、日常という練習の中で、自分は楽しんでいるか、この時間を大切にしているか。その視点が大切だと思います。ここに集えた人々の奇跡に価値を感じ、毎日に祝杯をあげるような生活。附属中学校、ここにすべてあります。感じてくださいね。応援しています。



原田 開斗 講師

附属中学校は私にとって初めての勤務校で、初めて子どもたちが登校する日はとても緊張していたことを覚えています。しかし、それを吹き飛ばすような明るい挨拶をしてくれる附属中学校の子どもたちに、すっかり緊張もほどけたこともよく覚えています。

この2年間は全員が情報端末を持つようになるなど、大きな変化がありました。そんな中、子どもたちは環境の変化に対応し、創意工夫を凝らして取り組んでいました。子どもたちと授業をともに創り上げていく中で、自分自身も学び成長することができました。まだまだ未熟者の私と一緒に授業を楽しんでくれた子どもたち、そして受け入れ支えてくださった保護者の方々、2年間本当にありがとうございました。

神崎 知恵 講師

附属札幌中学校で2年間、社会科の非常勤講師として勤務させていただきました。

2年間を通して、附属中学校の生徒の皆さんは「柔らかさ」があると感じています。それは、柔軟性です。新たな着眼点に気づいたり、仲間との学びで考えを深めたりすることができる柔軟性は類稀なるものです。そして、生徒の皆さんの笑顔や雰囲気の柔らかさ。挨拶や会話の中で、生徒の皆さんの笑顔に励まされることが何度もありました。大学を卒業したばかりで未熟な点多々あったかと思いますが、附属中の生徒の皆さんとの学びの中で自分自身も成長させていただきました。保護者の皆様には温かく見守っていただいたこと、心から感謝申し上げます。2年間、ありがとうございました。

北條 朱音 講師

2年間という短い期間ではありましたが、附属中学校で過ごしたこの2年間は、私にとって非常に大切な時間となりました。いつでも前向きで、一生懸命に学校生活や学校行事に取り組む子どもたちの姿や明るい笑顔にいつも支えられ、励まされていました。子どもたちとたくさんの時間を共有することができたことを非常にうれしく思うとともに、私自身も子どもたちから色々なことを学ばせていただいたことを感謝しています。この2年間で学んだこと、たくさんの思い出を糧に、これからも成長し続けていきたいと思います。一緒に過ごしてくれた子どもたち、そして温かく見守ってくださった保護者の方々、本当にありがとうございました。

皆川 志樹 講師

本校では、2年間お世話になりました。附属中学校でのたくさんの人々との出会いや経験してきたことは私にとって教員を続けていくための土台になりました。日々成長していく子ども達の姿を間近で見ることができ本当に幸せでした。保護者の皆様には、たくさんのご支援やご協力いただき心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



福澤 透真 講師

半年間という短い期間ではございましたが、生徒を始め、職員の方々には大変お世話になりました。保護者の方々におかれましては、着任時も特に挨拶することなくいたかと存じます。誠に申し訳ありません。この半年間は、私にとって非常に楽しい時間でした。生徒と関わっている時間は、特にその思いが強く、彼ら彼女らの人懐っこさや眩しすぎるほど純粋な笑顔は、日々の活動の原動力になりました。職員の皆様におかれましても、関わる方々全員が優しくフォローしてくださったことで、半年間を終えることができたと考えています。心より感謝申し上げます。

尾上 樹里 さん

3年間、この附属札幌中学校で心の相談員を務めさせていただきました。勤務開始当初、私は大学院生で、心理カウンセリングの実践経験も浅く、不安を抱えたまま暗中模索を繰り返していましたが、周りにいらっしゃる先生方が支えてくださったおかげで、これから先に繋がることを学ぶことができました。心の専門家としての道はまだ始まったばかりですが、附属中で学んだことを成長の糧とし、さらに自己研鑽に励んでいきたいと思っております。

最後になりますが、これからも生徒の皆さんの心と身体が健康であることを願っております。そして相談員を務める中で、多くの先生方のお力添えを賜りましたこと、改めて感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

飛内 瑞季 さん

心の相談員として、相談室にて1年間携わらせていただきました。附属札幌中学校のみなさんは、相談室内や廊下ですれ違った際に礼儀正しく、元気に声をかけてくれる印象です。生徒のみなさんに会えることを楽しみに1年間学校に通い、みなさんと同じ時間を過ごす中で、自分自身も生徒に戻ったように楽しく過ごさせていただきました。その中で、中学生ならではの悩みや葛藤、様々なお話を聞かせていただきました。今後心理士として働いていく上で、生徒のみなさんとの接し方や学校やご家庭の方々との連携など、多くの学びがありました。この経験を今後の活動に活かしていけるよう、励んでいきたいと思っております。ありがとうございました。

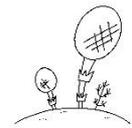
坂野 良子 さん

事務補佐員として、主に、教科書発注・諸会費納入受付等を担当させていただいておりました。保護者様のご協力により、滞ることなく作業が進められたこと、深く感謝申し上げます。附属での勤務はとても充実しており、又、戻ってこられたらいいのと思えるほど楽しい日々でした。これも保護者の皆様・生徒・先生たちの仲が良好であるからなのだと思います。4年間大変お世話になりありがとうございました。また逢う日まで…。



<新年度当初の予定>

7日(金) 新任式・始業式	21日(金) 前期役員委員承認式 委員会・専門局会
8日(土) 第78回入学式	
10日(月) 臨時休業日	22日(土) 午前:部活動結成集会(希望者のみ参加) 午後:PTA・ふじづる総会、PTA学年委員会、 PTA常務委員会、PTA役員会
12日(水) 委員・専門局員選出	
13日(木) 3年学力テスト	
14日(金) 3年PTA・学級PTA懇談会	24日(月) 教育相談①
17日(月) 学級写真撮影 委員会・専門局会	25日(火) 合同体位測定 教育相談②
2年PTA・学級PTA懇談会	26日(水) 委員会・専門局会
18日(火) 幹旋教材販売日(朝) 全国学力・学習状況調査(3年)	27日(木) 教育相談③
1年PTA・学級PTA懇談会	28日(金) 1年色覚検査
20日(木) 職員会議(5時間日課)	29日(土) 昭和の日(祝日) ※新年度の予定は変更する可能性があります。



諸活動の結果・表彰

コンクールや大会の入賞・入選した皆さんの栄誉を讃え、ご紹介いたします。

学級	生徒氏名	大会・コンテスト・コンクール名	賞・順位
1A	畠山 凱吏	札幌市お弁当レシピコンテスト	株式会社 松原米穀賞
1A	佐藤 朱華		札幌市中央卸売市場 青果部運営協議会 会長賞
1B	千葉 亜咲		札幌ヤクルト販売 株式会社賞

令和4年度 学長表彰	葛西 昂(1A) 曾根 遙真(1A) 塚崎 ハナ(1C) 鈴木 陵泰(2A) 森田 愛子(2A) 小路 凜佳(2B) 原井 絢叶(2B) 加藤 優奈(2C) 川田 梨乃(2C) 四ツ倉楓基(2C) 米田 頼正(2C) 神田 悠愛(3C)
------------	--

入賞・入選した皆さんおめでとうございます!

